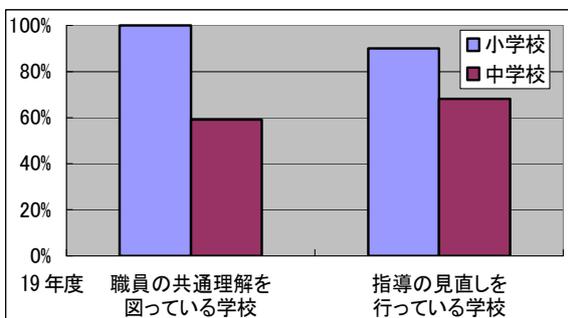


ねらい

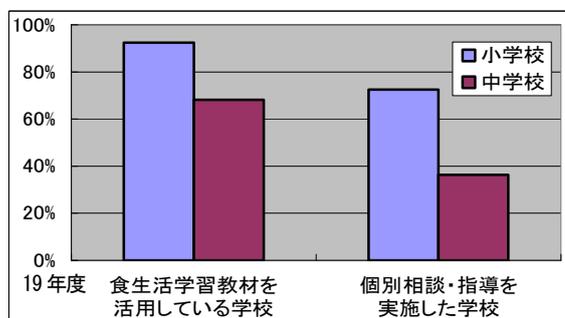
現代の子どもたちの食生活は、朝食欠食や孤食による食生活の乱れ、カルシウム不足や脂肪の取り過ぎなど偏った栄養摂取等の問題が指摘され、肥満傾向が強まるなど、将来の生活習慣病の増大が懸念されています。そのため、食育によって自らの健康管理ができるようにするために、食に関する正しい知識とそれを実践する習慣を身に付けさせることをめざしています。

現状

○ 「食に関する指導計画」の作成・見直し



○ 「食に関する指導計画」に基づいた指導



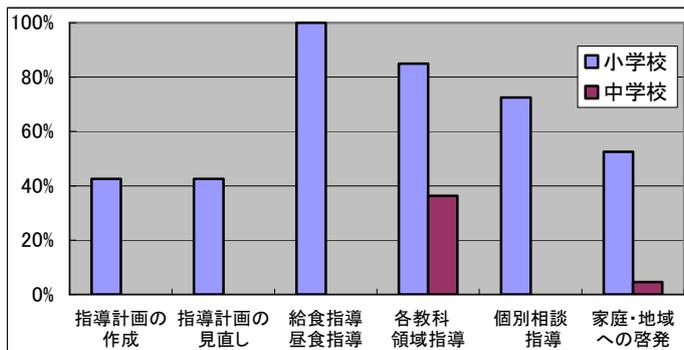
すべての小・中学校で「食育担当者」を位置付け、「食に関する指導計画」が作成されました。また、すべての小学校で「食に関する指導計画」の共通理解が図られ、計画に基づいた指導が行われています。

○ 保護者・地域との連携・啓発

各小・中学校では、以下のような取組を行っています。

- ・ 「朝食」をテーマに学校保健委員会で、話し合う。
- ・ 健康集会上に、保護者や地域の方を招く。
- ・ 学校公開・授業参観に食育の授業・給食の時間を公開する。
- ・ 給食試食会で、家庭の食育の大切さについて話し合う。
- ・ 「学校だより」「給食だより」「保健だより」「食育だより」等で啓発を行う。
- ・ ホームページで食育を紹介する。

○ 栄養教諭・学校栄養職員の食育への参画



※ 四日市市在籍・兼務状況（19年度）

栄養教諭	在籍	3校	兼務	小 6校	中6校
学校栄養職員	在籍	13校	担当	小18校	中1校

「各教科・領域指導」「家庭・地域への啓発」など、栄養教諭等による中学校の食育への参画が広がりつつあります。

課題（今後の方向）

- 「食に関する指導計画」について全教職員で共通認識を深め、計画に基づいた指導を行うとともに、計画の見直しを随時行い、児童生徒の食の実態に応じた指導の充実を図ります。
- 小・中学校における栄養教諭による「食に関する指導」への参画を推進するとともに、幼稚園における食育の支援を行います。